

地球と人にやさしい環境づくり

社は「誠実勤勉」



建築施工例：鳥取環境大学

土木、建築、大工、とび土工、・屋根工事業・
鋼構造物、舗装、浚渫、内装仕上、水道施設工事業

弊社では、『品質』『環境』の2つのマネジメントシステムの実践において、品質管理体制と技術ノウハウのさらなる充実・向上を図っております。質の高い建築物・サービスを提供すること、そして豊かな地域環境を築き、鳥取の自然環境を引き継ぐために、建築事業全般を通して環境に配慮した企業活動に徹しています。



ホンダカーズ車尾店

建築事業 - 地球と人に優しい -

DATA

代表取締役社長 岸本 行正

〒680-0903 鳥取市南隈2 5 5 番地

Tel 0857-28-5511

Fax 0857-28-8171

E-Mail t_taniguchi@yamakou-net.co.jp

URL <http://www.yamakou-net.co.jp/>

お問い合わせ先担当者 谷口 隆之

米子支店

〒683-0811 米子市錦町3丁目90-4

Tel 0859-32-0911

Fax 0859-22-3214



店名・企業名・団体名		業種分野	
代表者	役職名	代表取締役社長	氏名 岸本 行正


【本社】名称			
郵便番号	〒680-0903		
所在地	鳥取県鳥取市南隈 2 5 5 番地		
Tel/Fax	Tel	0857-28-5511	Fax 0857-28-8171
E-Mail	t_taniguchi@yamakou-net.co.jp		
URL	http://www.yamakou-net.co.jp/		


【支店・営業所1】	米子支店		
郵便番号	〒683-0811		
所在地	鳥取県米子市錦町 3 丁目 9 0 - 4		
Tel/Fax	Tel	0859-32-0911	Fax 0859-22-3214
E-Mail			


【支店・営業所2】			
郵便番号	〒		
所在地			
Tel/Fax	Tel		Fax
E-Mail			


【支店・営業所3】			
郵便番号	〒		
所在地			
Tel/Fax	Tel		Fax
E-Mail			


お問合せ先担当者	谷口 隆之
所属組合	

	代表者[担当者]からのメッセージ
	<p>やまこう建設株式会社は、社会基盤の整備、資産の形成、そしてそれを長期に渡り維持するという重要な社会的使命を常に認識し、昭和24年の創業以来地域と共に歩んでまいりました。弊社は建設業者として、持てる技術力を最大限に発揮することが、地域の皆様に満足感・安心感を感じて頂けるものと信じ、あらゆる努力を続けていく所存です。更に、優れた技術力を提供できるように自社の体質を強化し、研鑽を重ね地域貢献を継続して参ります。</p>
代表取締役社長 岸本 行正	

【商品情報1】キャプション	【商品情報1】キャッチフレーズ
<p>建築事業 ～地球と人に優しい～</p>  <p>ホンダカーズ車尾店</p>	<p>弊社では、『品質』『環境』の2つのマネジメントシステムの実践において、品質管理体制と技術ノウハウのさらなる充実・向上を図っております。質の高い建築物・サービスを提供すること、そして豊かな地域環境を築き、鳥取の自然環境を引き継ぐために、建築事業全般を通して環境に配慮した企業活動に徹しています。</p>

【商品情報2】キャプション	【商品情報2】キャッチフレーズ
<p>土木事業 ～地球と人に優しい～</p>  <p>鳥取道智頭地区外災害復旧工事</p>	<p>陸・海・空の交通アクセス、防災・環境を考えて、大地に新しいデザインを描きます。最新の施工技術と長年のノウハウが活躍する場面。数多くの施工実績で、大地に新しいデザインを描きます。一般土木工事・港湾工事・緑化保全工事の各部門において、多くの実績を残しています。</p>

【商品情報3】キャプション	【商品情報3】キャッチフレーズ
 <p>船磯新漁港</p>	<p>【港湾工事】21世紀に入り、環日本海交流がますます活性化してきました。島国日本の山陰地方にとって、港湾は、貿易・交流・漁業の分野で大変重要な交通・情報産業の拠点です。長い月日、大規模な土木工事である港湾工事に携わってきた当社では、港湾といった特殊分野での技術ノウハウ、工事实績を活かし、これからも海とともに暮らしていく地域の人々に貢献していきます。</p>

【商品情報4】キャプション	【商品情報4】キャッチフレーズ
	<p>【緑化保全工事】道路緑化には山腹の削った法面の景観のための「修復緑化」と防雪・防風などを目的とした「機能緑化」とがあります。ただし、これからは新しい豊かな自然を創造する「自然創造緑化」が必要となってくるでしょう。当社では、景観計画・景観設計の段階から自然に及ぼす影響をいかに軽減するか、地域環境・道路環境・地球環境をいかに調和させるかを考え続けています。</p>